

岡山県委託事業
在宅歯科医療等に従事する歯科衛生士研修（2020）

「食べる」支援を行うために

～中級編：“他職種”を理解する～



言語聴覚士 齋藤 真実子

言語聴覚士について

簡単に言うと…**口のまわりのリハビリ**をする仕事

口の働きとは…？

- ① 「**食べる**」こと
- ② 「**話す**」こと



「**食べられない**」 (摂食嚥下障害)

→ 摂食嚥下障害、口腔機能の低下、口腔内の不衛生 など

「**話せない**」 (コミュニケーション障害)

→ 失語症、構音障害、聴覚障害、高次脳機能障害、認知症 など

多職種で行う“食”への取り組み

“食”に関する職種…

医師・歯科医師・管理栄養士／栄養士・薬剤師
歯科衛生士・看護職・介護職・ケアマネ・SW
相談員・リハビリ職（PT/OT/ST）…

「食べる」＝「生きる」

医療・介護・福祉職は全員“食”に関係している！

中級編のポイント

「他職種」を知る！

- 多職種連携における自分の役割
- 多職種連携における他職種の役割
- 誰とどんな連携を図れば良いのかが理解しやすくなる！

STの主な役割と捉えて実践していること

- ①摂食嚥下機能の**評価・訓練**（**維持目的を含む**）
- ②評価を基に、食形態や姿勢・介助方法の検討など
他職種に対する**環境調整の提案**
- ③誤嚥性肺炎や窒息のリスクが高い利用者に対する
食事介助（**お楽しみや最後の一口への対応**）

個人的には

多職種協働の中でより専門的な知識や技術を活かしていきたい

と考えています

他職種の役割として捉えていること

- 医師：全身状態の管理（医学的管理）…
- 看護師：バイタルサイン/摂食状況/生活状況の観察…
- 介護職：摂食状況/生活状況の観察…
- リハビリ職（PT/OT）：姿勢管理、摂食動作、耐久性の評価…
- 管理栄養士/栄養士：食事内容の調整、栄養管理…
- ケアマネジャー/相談員/SW：プラン作成、意向確認…
- 歯科医師：口腔機能評価、歯科治療、VF/VE検査…
- 歯科衛生士：口腔内評価、口腔ケア、口腔リハビリ…
- 薬剤師：服薬調整、副作用の管理…
- 本人/家族：その日の体調、生活歴、趣味嗜好…

など

日々、多職種が「評価/観察/対応」を行っています

多職種協働（ミールラウンド）

それぞれのチームでどのような役割を担いますか…？



チームごとに
求められる役割は
異なる！

自分の役割を
理解して動く！

こんな場合はどうする？



- 例①：口唇や舌の動きは良いが、食べるたびに義歯が動いてしまい、形のあるものが食べにくい人
- 例②：腕や指の動きに制限があり、食べこぼしが多い人
- 例③：力強くしっかりと飲込めているが、口の中に長い時間溜め込んでいる人
- 例④：気分のムラや集中力の低下があり、摂取量が安定しない人

どの職種がどう関われば良いでしょうか？

こんな場合はどうする？



例①：口唇や舌の動きは良いが、食べるたびに義歯が動いてしまい、形のあるものが食べにくい人

→義歯の調整（歯科医師、歯科衛生士）

→食形態の調整（家族、管理栄養士／栄養士）

例②：腕や指の動きに制限があり、食べこぼしが多い人

→自助具の使用、上肢の機能訓練

（作業療法士、理学療法士）

こんな場合はどうする？



例③：力強くしっかりと飲込めているが、口の中に長い時間溜め込んでいる人

- 姿勢の調整（理学療法士）
- 姿勢によっては介助（家族、介護職、看護職）
- 口腔周囲の機能訓練（歯科衛生士、言語聴覚士）

例④：気分のムラや集中力の低下があり、摂取量が安定しない人

- 食事環境の調整（家族、介護職、リハ職）
- 服薬の調整（医師、薬剤師、看護師）

実際には…

すべての職種がそろふことは難しい

- チームの中でどのような役割を担うか
→ 複数の役割を担うこともある
- どこに（誰に）つなげば良いか
→ チーム外の専門職を頼ることも必要

“健口体操”の目的？

[パ]・・・ を動かす

[タ]・・・舌の を動かす

[カ]・・・舌の を動かす

→なぜ「**パ**・**タ**・**カ**」？

実は・・・

日本語の発音と非常に関係が深いのです・・・!!

(ただし、あくまでも齋藤基準)



少し発音してみましよう!!

日本語の発音

ア行（母音）：舌の位置、

カ・ガ行：舌の奥

サ・ザ行：舌の先（ ）

タ・ダ行：舌の先（ ）

ナ行：舌の先（強め、 に抜ける）

ハ行： パ・バ行：口唇

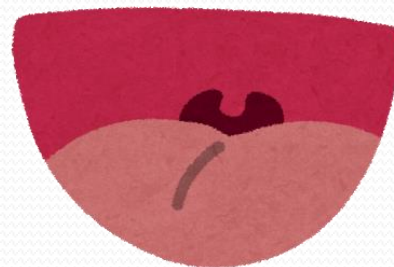
マ行： （鼻に抜ける）

ヤ行：舌の位置、口の形

ラ行：舌の先（丸める）

ワ行：舌の位置、口の形

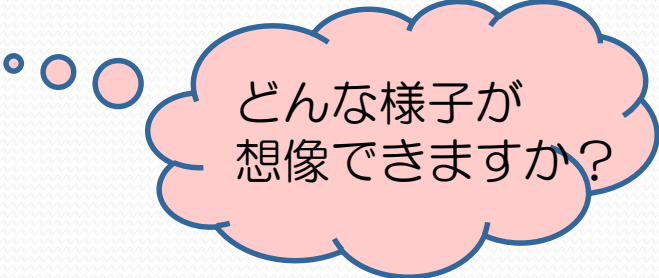
＋ のどに を ／



声を聴けば「食べる」様子が想像できる

例えば

- ①鼻に抜けたような声（「パ」が「マ」になる…）
- ②舌足らずな声（「タ」が「チャ」になる…）
- ③濁音がはっきりしない声



どんな様子が
想像できますか？

①軟口蓋挙上不全？

→鼻への逆流、嚥下圧の低下…

②舌の運動不良？

→送り込み不良、嚥下反射と飲込みのズレ…

③喉頭周囲の力不足？

→喉頭の挙上不全、食道入口部の開大不全…

多職種連携のために

- 専門性を持った“プロ”がそれぞれの力を発揮することが重要

そのためには…

- 自分の職種（得意分野）を知ること
- 積極的に他職種を知ること
- 役割を考える（理解する）こと



他職種の視点を取り入れて考えることが
効果的な対応につながる